

午後 I 試験

問 1

問 1 では、大学の業務及び情報システムの統合について出題した。題意や状況設定は、おおむね理解されているようであった。

設問 1(1)では、新法人としての会計業務手順の整備を求める解答が一部に見られた。統合計画の第 1 段階では、業務の見直しは最小限に抑える方針であることを踏まえて、新法人の財務諸表と、各大学の勘定科目、予算科目間の対応関係を整理する必要があることを読み取ってほしかった。

設問 3 は、正答率は高かったが、大学の事務局幹部から意見があったことを理由に挙げた解答が一部に見られた。意見を単に受け入れるのではなく、その背景を考え、問題解決に向けた取組みを進めることの重要性を理解してほしい。

IT ストラテジストは、経営戦略や事業上の制約を考慮して、情報化計画を策定する能力を高めてほしい。

問 2

問 2 では、地域医療情報連携システムについて出題した。題意や状況設定は、おおむね理解されているようであった。

設問 1(1)では、検査機器を導入している医療機関における、連携システムの効果について解答を求めた。正答率は高く、検査機器の稼働率が低いという医療機関の状況について、連携システムによって改善が見込めることをよく理解した解答が多く見られた。

設問 2(2)では、訪問スタッフの負担を軽減するために必要な機能について解答を求めたが、共有サーバへの訪問記録の登録を、訪問スタッフがモバイル端末で訪問先から実施できるようにするという解答が多かった。現在運用している業務システムの情報を活用することによって、訪問スタッフの負担を軽減できることに気付いてほしかった。

IT ストラテジストは、情報を有効活用する能力、及び情報化計画の提案能力を高めてほしい。

問 3

問 3 では、大型装置メーカーの業務プロセス改革について出題した。題意や状況設定は、おおむね理解されているようであった。

設問 2(1)では、単に“機器の図面を提供する”という解答が多かった。中堅の顧客では、保守要員が退職しても補充がなく、技術やノウハウの継承が十分にできないという状況を理解し、技術やノウハウの継承を支援するサービスが必要とされていることに気付いてほしかった。

設問 3(1)では、“装置の情報を登録する機能”という解答が多かった。E 社が新しい保守サービスを提案するためには、“運転状況のデータを長期間蓄積し、時系列的な変化の状況を分析する”機能が必要であることを読み取ってほしかった。

IT ストラテジストは、事業のアクションプランを実現するための IT 活用の提案能力を高めてほしい。

問 4

問 4 では、漏水検知システムの企画について出題した。題意や状況設定は、おおむね理解されているようであった。

設問 1 では、新システムの企画について解答を求めた。正答率は高く、G 氏が行政の方針の中から何を優先し何を検討から外したかをよく理解した解答が多く見られた。

設問 2(3)では、地理情報システムを活用したサービス事業の実績をもつ会社のリストアップをすることとした判断の基となる F 社の状況について解答を求めたが、F 社の状況に関連しない解答も一部に見られた。

設問 3 では、新システムの様々な市場展開について解答を求めた。正答率は高かったが、高速会社と重機メーカーがもつそれぞれの課題を理解できていない解答も一部に見られた。

IT ストラテジストは、社会状況、技術動向及び自社の保有技術を基に事業戦略を立て、推進する能力を高めてほしい。